



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒662-0977 西宮市神楽町5-23
西宮YMCA内
☎(0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2012年10月会報 第289号

主 題 ・ 標 語

- 国際会長 (I P) Philip Mathai (インド)
 主題: "Be the light of the world" 「世を照らす光となろう」
 標語: "Share your blessings in love" 「恵みを愛もて分かち合おう」
- アジア地域会長 (AP) Oliver wu (台湾)
 主題: "Years bring wisdom" 「歳月はY'sをワイズ(賢者)にする」
 標語: "Action vitalize life with strength" 「行動が活力を呼び覚ます」
- 西日本区理事 (RD) 成瀬 晃三 (名古屋)
 主題: 「先頭に立ってワイズの光を輝かそうクラブで、地域で、国際社会で」
 "Let Y'smes Light Shine before Others
 In the club, in the community, in the world"
 標語: 「ワイズメンの満足度向上を真摯に取り組もう」
 "Devote Yourself to Y'sdom and Get More Satisfaction!"
- 六甲部長 上野 恭男 (芦屋)
 主題: 「柔軟な創造で愚直に積極的なワイズライフを楽しもう」
- 宝塚クラブ会長 長尾 亘
 主題: 「原点に帰って、楽しい例会」
 "Buck to the Origin!! Joyful Meeting."

今月のテーマ: BF(ブラザーフッド資金)

イエスは、「若者よ、あなたに言う、起きなさい」と言われた。すると死人は起き上がったものを言い始めた。イエスは息子をその母親にお返しになった。

ルカ福音書7:14~15

2012年10月第1例会

日 時: 2012年10月10日(水) 18:30
 場 所: 宝塚ホテル ゴールドの間
 会 費: 会員3,000円、会員外3,500円
 ドライバー

開会点鐘
 ワイズソング
 聖 書
 祈 禱
 ゲスト・ビジター紹介
 会 食
 ゲストスピーカー

水谷 恭子
 杉谷 和代
 長尾 亘会長
 全 員
 鯖尻 佳子
 青柳 美知子
 長尾 亘会長

大阪市大名誉教授
 多胡 進氏
 「街…宝塚、パリ、スタンバンゲル
 都市計画の分野から見て」

誕生日のお祝い

会長報告 長尾 亘会長
 YMCA 報告 谷川 尚連絡主事
 閉会点鐘 長尾 亘会長

2012/13 役員	会 長 長尾 亘 直前会長 山崎泰男 副 会 長 多胡葉子 書 記 若林成幸 会 計 吉田 明 会計監査 今田 稔 メネット連絡 福田素子 連絡主事 谷川 尚 六甲部地域奉仕環境事業主査 山崎泰男 西日本区交流事業主任 石田由美子																													
事 業 委員長	YMCAサービス・ユース 多胡 葉子 地域奉仕・環境 山崎泰男、E MC 福田宏子 交 流 石田由美子 ファンド 堀江裕一 広 報(ブリテン) 長尾 亘、(HP) 長尾 亘																													
特別事業 委員長	NGO 三品ミチ子 じゃがいも 福田 肇 バザー 山崎泰男 市民クリスマス 若林成幸																													
お誕生日 おめでとう!	今田 稔(10月14日) 井上みえ(10月23日)																													
9 月 実 績	<table border="0"> <tr> <td>在籍会員数</td> <td>24名</td> </tr> <tr> <td>例会出席者数</td> <td>25名</td> </tr> <tr> <td>うち会員数</td> <td>17名</td> </tr> <tr> <td>出席率</td> <td>70.8%</td> </tr> <tr> <td>メイクアップ(内数)</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>メネット</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>コメント・マゴメット</td> <td>0名、ゲスト・ビジター5名</td> </tr> </table> <table border="0"> <tr> <td>BFポイント</td> <td>9月</td> <td>4,630円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>累計</td> <td>15,030円</td> </tr> <tr> <td>にこにこBOX</td> <td>9月</td> <td>7,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>累計</td> <td>12,000円</td> </tr> <tr> <td>物品販売累計</td> <td></td> <td>5,300円</td> </tr> </table>	在籍会員数	24名	例会出席者数	25名	うち会員数	17名	出席率	70.8%	メイクアップ(内数)	0名	メネット	3名	コメント・マゴメット	0名、ゲスト・ビジター5名	BFポイント	9月	4,630円		累計	15,030円	にこにこBOX	9月	7,000円		累計	12,000円	物品販売累計		5,300円
在籍会員数	24名																													
例会出席者数	25名																													
うち会員数	17名																													
出席率	70.8%																													
メイクアップ(内数)	0名																													
メネット	3名																													
コメント・マゴメット	0名、ゲスト・ビジター5名																													
BFポイント	9月	4,630円																												
	累計	15,030円																												
にこにこBOX	9月	7,000円																												
	累計	12,000円																												
物品販売累計		5,300円																												

2012年9月第1例会

9月12日(水)18時30分から宝塚ホテル・ゴールドの間にて9月第1例会が行われた。

出席者はメン17名、メネット3名、ゲスト5名、計25名。初めに去る8月21日天に召された今西政弘さんのYMCA・ワイズの足跡に想いを馳せ黙祷を捧げ、長尾会長による開会点鐘、ワイズソング斉唱、聖書朗読、祈祷が行われた。続いてゲスト紹介があり会食と懇談のひとときを過ごした。今夜のゲストスピーカーはアマチュア落語家の日向亭 葵さん。氏の到着が遅れたため一瞬やきもき。この間に会長報告・各部報告(後述)を済ませ、当例会では初めてのプログラムとなる落語に興味津々。理学療法士を生業としつつ健康増進に笑いが大切とのご託宣か、演題は「笑い与健康」。舞台の準備もよろしく出囃子に引かれて噺家が登場すると「待ちました」とばかりに拍手で歓迎。

江戸落語には大変短い噺がございまして、一部線香即席噺…と、客席の反応を確かめるような軽いジョブからの導入。「鳩がお前の頭に何かおっことしたよ」「ふ



ーん」。「隣の空き地に囲いができたよ」「へえー」。くすくす笑いと三々五々の拍手から雰囲気が整ったと見えて、上方落語の古典「時うどん」へ。うどんをすすって食べる様が上手かったね。物語の結末は判っているのに「一つ、二つ、三つ……、今、なん時だい？」の段になると自然に笑いがこみ上げる。

この後、老人の3大骨折(大腿骨折・脊椎骨折・橈骨骨折)から身を守る、カルシウム・ビタミンDの摂取、日光浴の勧めと脚力検査の実技演習があった。そして再び古典落語「動物園のトラ」で笑うことに。

日向亭 葵の熱演に大爆笑と拍手喝采、暑さを吹っ飛ばし気分爽快だった。

今夜の例会で、7月定期総会での提案を受けて、宝塚クラブの規則改正案(別記)について審議し、満場一致で原案の通り可決承認した。その他の会長報告は次の通り。①次期理事高瀬メン(岩国みなみクラブ)の激励会(岩国クラブ・岩国みなみクラブで共同開催、11月10日周防大島)への参加者募集。②ジャガイモ委員会。価格・品質が安定している十勝産ジャガイモ400箱を購入・販売価格10kg箱@2100円を決定。③過日開催の六甲部会で行われたクラブ対抗コーラス大会で当クラブが優勝し賞金1万円を獲得。得意のフラ演出が勝因とか。

引き続き、お誕生祝いを行い、続いてゲストの阪和部長 正野忠之メンと岡野メン、病氣回復の小嶋星子メン及び今西時子メネットからご挨拶をいただいて、長尾会長の閉会点鐘でお開きとなった。

(若林成幸)

9月第2例会報告

9月19日(水)18時30分から、ハッピーハウスにて第2例会が行われた。長尾会長、谷川主事、多胡、石田、山崎、堀江、吉田、福田宏子、若林各メンと今田メネットの10名が出席。

1. 近隣各部で行われた部会への参加報告があり、今後に予定されている部会・例会への参加者を募った。

当クラブからの参加者には、他クラブとの交流と「宝塚クラブ25周年記念事業」のアップルキャラバン隊としての役割を期待。

阪和部会 9/22、西中国部会 9/29。岩国クラブ・岩国みなみクラブ合同例会 11/10~11。

2. 10月第1例会の運営について協議し、スピ

一カーとして8月のY's世界大会に家族参加された多胡 進氏にお願いすることになった。

3. 吉田会計から、今西時子さんから10万円の寄贈があり、感謝を持ってファンド会計へ繰り入れたことが報告され、10/7 辻 建牧師の傘寿祝賀会に祝金1万円支出が提案され、承認した。
4. 吉田メンから、9月第1例会で「宝塚クラブ会則・細則—第4条」並びに「同取り扱い規程—1」改正案につき承認を得たが、当日は、会員総数24名の内17名の出席と郵送による賛成及び委任状計4名があり、それぞれに可決要件を充たしていた旨の確認報告がなされた。また、本年7月1日から施行することを承認した。(詳細別記)
5. 谷川主事のYMCA報告に関連して、Yサ事業として、11/3実施のチャリティーランへの参加と同協力金5万円の支出を承認した。売店(ラーメン・ぜんざい)を出店し、ランへの出場呼びかけ・募金@3000円の協力をアピールする。また、全国YMCAリーダー研修会の支援金2万円の支出を承認した。
6. 石田交流事業主任から、来夏(7月下旬)、マニラにて開催のユースコンボケーションに当クラブ会員・桑田勝弥メンの参加を後押ししたい旨の提案があり、クラブとして支援することとした。
7. ブリテン10月号の投稿分担、編集・発送日程を確認した。

(若林)

宝塚クラブ 規則改正について

宝塚クラブ規則の改正について9月第1例会において審議され、次の通り承認されました。

【会則・細則】第4条 (入会金及び会費)

趣旨：若者の入会を容易にするため、会費減額制度を設ける。

現	◎このクラブの会費は年額40,000円とし、半年分を
---	----------------------------

行	前納することを原則とします。
改	◎このクラブの会費は年額40,000円とします。但し
正	<u>40才未満の会員については、本人の申し出により役員会が承認した場合は、半額とすることができます。</u> また会費は半年分を前納することを原則とします。

【取り扱い規定】1(慶弔・見舞金)

趣旨：病気等の理由により、長期に亘り、例会等への出席が不可能となった会員に対して、本会内の取り扱いとして、休会会員とし、会費を減額する制度を設ける。

現	1. 本会の慶弔・見舞金の額を次の通りとする。 (以下省略)
改	1. 同上(変更なし)
正	2. <u>休会</u> <u>病気等の理由により、長期に亘り、例会等への出席が不可能となった会員については、本人の申し出により、役員会が承認した場合は、本会内の取り扱いとして、休会会員とし、会費を半額とすることができます。</u> <u>休会の期間は原則として半期毎(前期又は後期)としますが、更新ができます。</u> 3~6の項番号に順次繰下げ。

【施行日】2012年7月1日

今西正弘さんを偲ぶ

今西さんは、24年前宝塚クラブチャーター当時のいわば「同期の桜」だった。なかでも今西さんは森田義治さん、大林正治さんと並んで、すでにワイズ歴を重ねておられ、文字通りクラブの牽引者のひとりであった。アルファベットの多いワイズ用語をこなすのに閉口していた当時のわたしたち新人を辛抱強く育成して、みなが一直線に並ぶように気づかいながら指導してくださった。

当時は、第一例会のあと逆瀬川駅にちかい飲み屋に立ち寄るのが恒例で、それを「第二例会」

とか「第三例会」とか呼んでいた。ふしぎにもその場で新しい活動の構想が湧いて来て、正式の例会の議題を生み出すことが多かった。もちろん支払いは割り勘だった。

今西さんは歌がおじょうずで、神戸 YMCA の混声合唱団「くさぶえ」の代表者であったことは有名で、ステージではご自分もテノールを歌われていた。宝塚クラブの5周年記念の折であったと思うが、記念例会でにわか聖歌隊をやるということになり、今西さんがテノール、わたしがトップ、吉田明さんがバリトン、大林さんがベースの急ごしらえで、たしか「わがしゆのみまえに、よろこびつどいて」を歌ったように記憶している。出来映えは手前味噌になるが、かなりのものだったと自負している。このメンバーはたしか 10 周年の記念例会が宝塚ホテルで開かれた折にも再演したと記憶している。ついでにカラオケに行ったときの話し、これは秘話に属するのだが。カラオケでは吉田さんがシャンソン、わたしが艶歌と相場がきまっていた。今西さんは「こよなく晴れた、青空を」で始まる「長崎の鐘」が得意だった。今西さんの澄んだ声がいまも耳に残っている。

クラブ結成からまもない1992年7月にノールウェーのオスロで国際大会が開かれ、わがクラブから今田夫妻、今西夫妻、青柳夫妻、辻夫妻、大林ワイズら 10 名が参加して国際的な交流を経験した。フログネル公園やヴァイキング船博物館を訪ね、フィヨルド海岸線の壮大な景色を船から楽しんで帰国した。この参加がその後もワイズダムのきづなを深めるきっかけになったと思う。

神戸ポートピアホテルで開かれたアジア大会の折、海員帽を被って接待役として働かれました。かっこよかった今西さん、バザーの折はっぴ姿で会場を走り回った今西さん、阪神大震災のあと毎月仮設住宅を花をもって訪問する車を運転して廻られた今西さん、多様な今西像がわたしたちの前を駆け抜けた。

最後は思いも掛けぬパーキンソン病を負われる身となり、思うように動かぬ体をどれほど

腹立たしい思いで過ごされたことかと思うが、あの車椅子すがたで時子さんの介助を受けながら、ここ大島まで訪ねてくださったことは何にも増して忘れがたい思い出である。大島駅のあの渡り口の階段をJRが手配したボランティアの手を借りて無事に渡れましたと笑顔で語っておられた。

今西さんに送る聖句として訃報とともにすぐ頭に浮かんだのは、この言葉だった。

「主人は言った。『忠実なよい僕だ。よくやった。お前はわずかなものに忠実であったから、多くのものを管理させよう。』」(マタイ 25:21)

ワイズスピリットを身をもって示してくださった今西さんにここからのお礼を申し上げるとともに、平安をお祈りする。それにしてもわたしたちの仲間へ天に向かわれる人たちの数が増えてきた。森田繁治さん、藪内正義さん、堀江メネットさん、藤森元さん、森田義章さん、田名網祐司さん、そしてわが美代メネット。そろそろ「たからづか天国クラブ」を結成しましょうや、という声かけを世話好きな今西さんが始めておられるのではないだろうか。今西さん、やはりそこでも入会費はいるのですか。例会後のカラオケはあるのですか。そしてお歌はやはり「長崎の鐘」ですか。

辻建

六甲部会報告

9月8日(土)13時より、本年度六甲部会がホテル竹園芦屋で開かれ、宝塚クラブからは長尾会長、小島、今田夫妻、鯖尻、多胡、福田(宏)、石田、水谷、三品、福田(素)、堀江の12名が参加しました。バナーセレモニーに始まり、第1部は礼拝式典、上野六甲部長の開会点鐘、挨拶、中道神戸 YMCA 副会長から奨励を頂きました。水野総主事からは八木重吉の詩「雨」が紹介され、しかも自らの弾き語りでした。詩に曰く「雨の音のようにそっと世のために働いていよう」

ワイズのことを思い選ばれたのでしょう。柏原書記から参加者の紹介がありましたが、出席者はおよそ130名程盛大な会となりました。

第2部でプティ・タ・プティの8人よりなる女声合唱団の演奏を聴き、そのあと第3部懇親会に移りましたが、食事をしながら、また美味しいワインなどを頂きながら、歌、々、々の楽しい会となりました。芦屋クラブで準備された歌詞集「みんなで歌おう」が配られましたが、100曲以上の各種歌謡が選択掲載された立派な労作でした。

途中、六甲部8クラブの歌対抗戦があり、わがクラブは全員で「見上げてご覧、夜の星を」を長尾会長のウクレレ伴奏で合唱しましたが、審査結果はなんと1等賞で多額の(?)の賞金をゲットしました。写真をご覧くださいればわかりますが、多分準備されたハワイ風の衣装と石田メンのフラに審査委員の眼が眩ませられたのでしょう、歌唱力などはとても、とても???。最後はホストクラブの芦屋クラブ島田会長の閉会挨拶があり、6時間を超す長い部会でしたが、その時間が過ぎるのを忘れるほど楽しい思いのなかで終わりました。準備をされた芦屋クラブの皆様ご苦労さまでした。



(堀江裕一)

猛暑のつづく2012年9月15日(土)中西部部会が午後2時から5時までホテルグランヴィア大阪において、大阪なかのしまクラブのホストで行われました。

第一部は開会点鐘、ワイズソング、聖書朗読、祈祷とつづき、大阪なかのしまクラブ吉田会長の歓迎の言葉、YMCA末岡総主事、西日本区成瀬理事の来賓挨拶がありました。つづいて来賓紹介、中西部役員紹介、クラブ紹介が終わり、142名の大勢の参加者に拍手しました。

第二部は関西学院大学教育学部岩坂二規准教授の講演です。＜今日の主眼＞はYMCAとワイズメンズクラブの現代版「ユースワーク」の学びと協働の可能性を考える沢山の課題があり、1.現代の「ユース」を取り巻く社会の課題 2.近代以降のユースワークの変換 3.ユースの今 4.「わたし」のユースワーク 5.ユースワークの構想 6.話し合い:「わたし」のユースワークの構想 6個の課題に又それぞれの課題があり、終りなく細分化され終りが見えないぐらいです。どんな課題でも無関心であってはいけません。答えはひとつと決まっているわけではありませぬので、ゆっくり想像力を伸ばしていくと楽しいかもしれませんね。私は遅まきながら、大変すばらしい本と出会いました。沢山の方もご存知だと思います。この言葉「おかれたところで 咲きなさい」深い意味があります。

大阪なかのしまクラブのみなさまご準備お疲れ様でした。各クラブの前むきのメッセージ期待しています。

第三部 懇親会 お料理は上品でかわいらしくおいしく頂きました。ご馳走様でした。久しぶりの方々とも、お話できて、たのしかったです。



出席者：長尾会長、石田交流主任、多胡副会長、小島メン、三品メン

三品 ミチ子

ユースリーダーとつくる阪和部会に参加して

2012年9月22日、福田（宏）メンと石田メンと杉谷—Pan Am トリオで阪和部会に参加してまいりました。存在感のあるお二人に導かれ大変良い体験をすることが出来ました。

今回の阪和部会の目標は“YMCA に集う仲間として Y's men とユースリーダーがお互いにより深く知りあうこと”でした。この目標を掲げて部会のアジェンダの前半は Y's men のコーナーで、各クラブから今年目標、活動状況など熱意をもって発表されました。食事を挟んで後半はユースリーダーによる各 YMCA の寸劇による活動発表が行われました。いずれも若さ満ち溢れる個性的なしかも多様性を表す活動風景を演じていたので、私としては驚きと同時に若い人たちのエネルギーに頼もしさを感じました。演じる側と観劇する側が一体となっている様子を見て、この部会の目標が見事に達成されたと感じられる熱いものを実感しました。

“Hanwa district is forever from “Family ties” まさしく会場は若いリーダーと支える側が Family として将来の発展を願う空気が満ち溢れ、大変盛り上がりのある素晴らしい立派な部会でした。

た。こうして他の部会に参加し、新しい知識を得ることは自身の今後の方向にプラスになるという思いを抱きました。中部地区から西日本各地に至るまで広範囲の参加者が総勢 181 名にもなったことには阪和部会の努力と熱意の表れだろうと思います。ホステスクラブの皆様が心こもる細やかな準備をされたことを十分感じることが出来ました。とてもよい機会を与えていただき感謝しております。



杉谷和代

ジャガイモ販売のお願い

今年も運搬、販売に絶大なご協力を！！

搬入日時：10月13日(土) 午前9時

搬入場所：大林正治氏宅(宝塚市野上 5-5-22)

数量：400箱(10kg)

販売価格：2,100円

振込先：みなと銀行 逆瀬川支店

普通預金：1603428

口座名：「宝塚ワイズメンズクラブジャガイモファン」

尚、今年もカボチャは高値につきジャガイモのみの取り扱いとします。

数量は昨年通り 400箱としますのでご協力をよろしくお願い致します。

(ジャガイモ事業委員会)

チャリティー市民クリスマス

宝塚クラブの恒例行事、市民クリスマスを次の通り開催します。先の西日本区大会において広報最優秀賞受賞の栄誉を新たにして、キリスト降誕の喜びを、聖書朗読と教会音楽を通して発信していきたいと思えます。皆様のご協力をお願い致します。

日時：2012年12月14日(金)19時

場所：宝塚ベガホール(入場無料)

9月下旬から合唱練習を開始。団員を募集中。
(協力金：入団1000円、練習1回300円)

市民クリスマス実行委員

【今月のみ言葉】

辻 建 牧師

イエスとその一行がガリラヤのナインという町に入って行った時のことです。前方からひとつの行列が近づいてきます。行列の先頭には、頼りにしていた一人息子を失って、泣き崩れる母親が歩いています。イエスはその姿を見て憐れに思い、「もう泣かなくともよい」と声をかけられます。そして近づいて、棺に手をかけ、この言葉をかけられます。すると、若者は目を覚まして、ものを言い始めます。悲しみの行列は、喜びの行列へと変えられます。わたしたちの生活もまた、滅びと死のにおいに満ちた行列のなかに組み込まれています。きれぎれのなった人の輪、自分の政党の生き残りだけを求めて大局を見失ってしまった政治、処理不可能な核廃棄物をかかえている狭い日本の土地。しかしその目前にもうひとつの行列が差しかかっています。すれちがうのか、それとも「若者よ、起きなさい」の声をかけられるのか。

誕生月 輪番シリーズ

心に残る身近な出来事

今田 稔

7月中旬だったからもはや最近とは言いがたい。和子が金沢の末娘に電話したあとニコニコしている。なんやの？と聞くとその返事が嬉しかった。金沢には四人の孫がいる。上の三人は男で小学生、一番下が幼稚園の女の子である。娘とその四人の子供たちが自転車をつらねて港の公園まで行って来た、と言う。孫娘はハッチャキでシャントコベア、上の三人の男の子もそれを良し、と可愛がっている。寺町の家から歩いて急な少し長い坂を下がった犀川の左岸、河原でサイクリングロードが走っている。河川敷は途中で右岸に渉る所もあるが海辺の公園まで続いているとの話である。往復10kmはあると思う。その道を五人連れが暑い中、自転車を連ねて走っている姿を想像して無性に嬉しくなったのである(幼稚園の女の子は自転車を置いて半分母親に乗せてもらったそうだが)。

ふと思う。私と和子とは生れも育ちも性格も全く異なる。この二人が結婚して、去る三月にはエメラルド婚(55周年)を送り今も平和に楽しく日々を送っている。不思議な気もするが、考えてみると二人の共通点として幼い者をいとおしむ心、そしてその子供たちが成長してゆく姿を心から喜びながら見守ってゆく眼差しが気持ちの底流れにあると思う。嬉しかった事として書き出したのが少々思いがけない方向にずれたようだが・・・

YMCA だより



1、保育園の歩みについて

神戸 YMCA では、学園都市に3拠点、

西宮には今年4月に開園した「西宮つとがわ YMCA 保育園」が加わり 2 拠点で、子どもたちの保育を行っています。神戸の保育の原点は実は、震災以降の区画整理のため、惜しまれつつ 1997 年に閉園した「西神戸 YMCA 保育園」にあります。戦後の復旧期に、家内工業などが多く、またベトナムなどアジア地域のからの移民が多かった神戸市長田の地域には、愚連隊など都市部とは違った様相の雰囲気が漂う中、学童期の子どもに対して、集団でのつながりの中で家庭教育が行き届かない子どもにも、生活習慣や社会性指導などを積み、社会での生きる力をはぐくもうと 1950 年代に始まった「かぎっこクラブ」がそのスタートでした。その後、保育園として乳幼児の保育も行うようになり、その地域とともに震災まで歩んできた西神戸での保育が礎となって、現在では学園都市や西宮での活動となっています。

現在では、保育園のみならず学童保育なども行っていますが、今一度原点に立ち返り、地域とともに歩む YMCA のあり方を模索しながら保育を行っています。西神戸のときは、まったく違う社会情勢にもなっていますが、何時の世でも、明日の社会を担ういのちをはぐくむことが、社会をよりよくしていくことにつながると信じて、キリスト教保育を実践しています。西宮には私がいいますので、またお近くにお寄りの際は、お立ち寄りください。

2、今後の予定

- ・ 10月21日(日)三宮YMCA国際チャティーバザー、西宮YMCAカーニバル
- ・ 10月27日(土)西神戸YMCA幼稚園バザー
- ・ 10月28日(日)西神戸YMCA(学園都市)わいわいまつり
- ・ 10月30日(火)チャリティーゴルフ
- ・ 11月3日(土・祝)チャリティーラン

※10月13日は全世界のYMCAで「ワールドチャレンジの日」として、なんらかの形でバスケット(バスケットはYMCAのスタッフが考案して全世界に広がったスポーツです)をそれぞれの地域でおこなっていきこうと提唱されています。よければみなさんも、どんな形でも結構ですので、バスケットにチャレンジしてみてください

<http://www.facebook.com/JapanYMCAWorldChallenge>

谷川 尚(連絡主事)

交流事業便り

- ・ 西日本区のホームページに交流事業通信 3号をアップしましたので見て下さい。
- ・ 宝塚クラブの DBC 予定の岩国クラブが岩国みなみクラブと合同宿泊例会を 11月10日(土)～11日(日)に周防大島で行われます。沢山クラブから参加したいと思います。10月例会で参加を確認します。

クラブ交流委員長 石田由美子